

一般社団法人柏法人会 会長賞

未来につながる税金

柏市立大津ヶ丘中学校 第三学年 森山 彩加

小学校の入学式の日には、整頓された机の上には真新しい教科書が配られた日のことを、つい最近のように感じます。私にとって義務教育がスタートした日でした。そして、あと約半年で義務教育が終わろうとしています。その九年間、新学期は新しい教科書とノートが配られることが当たり前だと思っていました。終業式の日、母は教科書やノートを整理して家の机の本棚は新しい教科書のスペースを空けて整頓しないと気がすまない。ゆっくりしたい日なのに、正直、私はその作業が嫌いでした。税金についての作文を書くにあたって考えていた時、ふと教科書の裏に「この教科書はこれからの日本を担う皆さんへ期待をこめ国民の税金によって無償で支給されています。大切に使いましょう。」と記載されていることを思い出しました。それは毎年、教科書を整頓していた時に目にしていたからです。

一言で「税金」と言うと、難しいイメージや自分には縁遠い気がして、しばらく悩んでいました。しかし、思い返してみると、私の身近では、年々積み重ねられている多額の税金がさまざまな物に使われていることに気がつきました。学校で使う教科書は物論、皆と過ごす校舎や吹奏楽で使用した楽器、理科の実験道具、体育で使ったボールやとび箱など多岐にわたります。また、私の小学校時代は、地域のニュータウン開発により子育て世代が増えました。その影響で校舎が全然足りませんでした。そのため、小学校新設案も出されましたが却下され、両親は残念がっていました。その時は何もわかりませんでした。新設には約十億を超える税金がかかるということを知りました。結果的には、校舎の増設や体育館の大規模改修が行われ、コンピュータ室も完成し、機器が年々増えていきました。少なからずとも、私の過した小学六年間は過ごしやすい環境で教育できるように考えられたものでした。

今、私にできることは第一に税金の支えで教育を受けられていることへの感謝です。他にも子供の私でも直接触れることのできる税金は消費税です。私が物心ついた頃から存在し、物を購入する時には当り前のように存在している消費税ですが、三十年前に消費税が導入された当初は世間で大騒ぎになったと聞いています。国民の反発を受けながらも三%、五%、八%、十%と段階的に引き上げられました。憲法には「納税は国民の義務」と決められています。税があつてこそ私達が豊かに安全な暮らしを享受しているということ。税の歴史は大宝律令にさかのぼり、現代の税の仕組みに成り立つまで千三百年を超える税制の歴史があります。とても素晴らしい制度だと思えました。数年後、日本を担っていく者として、この機にもっと税に関心持ち、自分の責任を理解し、残りの義務教育を全うしたのち、社会に貢献していきたいと考えます。